

プロジェクトニュース

シエラレオネ 地域開発能力向上 (CDCD) プロジェクト

2010年11月25日号 (Vol.12)



主な記事

はじめに

1. プロジェクト進捗

1.1 コミュニティ開発プログラム

1.2 農道・カルバート改修

1.3 反町専門家着任

2. コラム：ごつつあんです！シエラレオネ

第10話と番外編



シエラレオネ



プロジェクト対象県

はじめに

2009年11月にプロジェクトが開始して以来、早いもので1年が経ちました。まずは、首都と地方のプロジェクト事務所設営、地方のプロジェクト宿舍設営、調達、銀行口座開設、ナショナルスタッフ雇用準備などなど、様々な準備作業のために走り続ける日々でした。同時に、カウンターパートである内務地方自治地域開発省、カンビア県・ポートロコ県議会とプロジェクトの進め方について、日々協議を重ねました。その間様々な課題や困難に直面しながらも、専門家チームの働きかけにより今日までにカウンターパートとの協働体制が強化されています。

また県議会の体制のみならず、県議会議員やワード委員会という住民代表グループの実態、パラマウントチームと呼ばれる地元権威者と住民との関係、地域住民の生活・社会など現況が少しずつ明らかになってきました。その結果県議会の住民へのサービスデリバリーが徐々に改善され、住民にとっても目に見えるコミュニティインフラの整備が一步ずつ進んでいます。

よって、今後の短期的な目標として、2011年4月以降には現場活動を通じて得られた地域社会の実態、県議会と住民の協働体制の可能性などについての成果や提言を本省及び他の県議会に伝え、シエラレオネの地域開発の政策策定に貢献したいと考えています。

蛇足になりますが、数ヶ月前にシエラレオネの歴史を研究している地元の大学教授に会う機会がありました。彼が書いたシエラレオネの歴史書を読んでいくと、シエラレオネが多民族から成る人種のルツボであることや、今日に至るまでの地方の統治(?)のあり方の変遷がわかります。次号からはシエラレオネの歴史を少しずつ紐解いて、皆さんにお伝えしていきます。

(平林リーダー)

1. ニュース：プロジェクト進捗状況

1.1 コミュニティ開発プログラム：パイロットプロジェクト実施可能性調査佳境へ

11月に入り、パイロットプロジェクトの実施可能性調査が佳境へと入っています。地域住民を動員したワークショップにおいて選出されたパイロットプロジェクト案が、本当に予算内・工期内で実施可能かどうかを確認するために、エンジニアを中心としたチームが現場踏査を行います。現場踏査は残すところ3ワードとなっており、今後、エンジニアが詳細な積算を行い、最終的な実施の可否を、県議会を中心とした技術諮問委員会の審議にかけることになっています。



改修予定のトイレを調査するポートルコ
県エンジニア（手前）

県	ワード	チーフダム	選択されたプロジェクト
カンビア	119	マグベマ	道路改修
	120	マグベマ	乾燥床建設
	122	マグベマ	カルバート建設
	124	マスンバラ	乾燥床建設
	126	マスンバラ	乾燥床建設
	128	トンコリンバ	手押しポンプ式井戸改修
	129	トンコリンバ	カルバート建設
	130	マグベマ	カルバート建設
	131	ブラマイア	手押しポンプ式井戸改修
	132	ブラマイア	橋改修
	135	ンビンレディクソン	カルバート建設
	136	サム	歩道改修
	137	サム	橋改修
	138	サム	橋建設（不可能であるため県議会が説得中）
	140	サム	小学校改修
	142	マンボロ	道路改修
143	マンボロ	歩道改修	
ポートルコ	176	ブヤロメンデ	簡易裁判所改修
	199	マシムラ	小学校とトイレ改修
	200	マシムラ	学校建設（不可能であるため県議会が説得中）
	201	マシムラ	簡易裁判所とトイレ改修

その間これに関連する県議会職員の指導力は確実に向上していると感じます。例えば、ワークショップでは、議員も含めた住民達は、実施不可能なプロジェクトを選択することもあります。1つのプロジェクト案に固執するのではなく、上位3つのプロジェクト案を選出するよう、県議会職員が指導しています。それでも尚、実施不可能なプロジェクトに固執する議員・住民を説得するため、県議会から議員に説得を続けます。

例えば、小学校建設案件についてです。パイロットプロジェクトの工期である2ヶ月間では学校建設は不可能ですが、住民達は建設に向けて熱くなっており、これを県議会職員が説得するのは一苦勞



雨にも負けず調査を行うカンビア県エンジニア（手前）



乾燥床の設置場所を指導するカンビア県農業事務所職員

です。まずは開発計画担当官が説得を試み、

それでも駄目なら、議長から議員を説得し、さらに駄目なら、現場に出向き直接住民達との話し合いを設けたりもします。これらをお膳立てする我々の苦勞も多いですが、このような経験の蓄積が県議会としての行政サービスの向上につながるものと確信しています。

一方で、実施可能性調査にもトラブルはつき物です。頼りにしていた県議会エンジニアが急なワークショップへの参加で、1ヶ月間まったく事務所に来られなくなったため、プロジェクト雇用のエンジニアが彼の業務を代行することも多々ありました。今後、県議会エンジニアが不在の際も、県議会としての機能が損なわれないよう、彼の業務を代行できる人材の育成も必要ではないかと考えています。

(久保嶋コミュニティ開発専門家)

2010年度実施予定の主な事業		
主な事業	予定	進捗状況
コミュニティ開発：パイロットプロジェクト及びキャパシティアセスメント	32件（社会・経済基盤整備） カンビア県 25件、ポートロコ県 7件	フェーズ1&2(11件)： 8件完了, 3件実施中 フェーズ3&4(21件)： 実施可能性調査実施中
フィーダー道路・カルバート改修工事	フェーズ1 第一ターム（2011年5月末まで） カンビア県：フィーダー道路計17Km, カルバート13箇所 ポートロコ県：フィーダー道路12.7Km, カルバート7箇所	11月18日、19日公示 開札予定：ポートロコ県12月20日, カンビア県21日

1.2 農道・カルバート改修工事 -11月18日,19日に公示しました-

すべてのサービスへの根幹となる道路。道路改修はポートロコ県、カンビア県の開発計画の中でもニーズの最も高い分野のひとつです。アクセスを改善することは、地域の経済活動や社会活動の改善につながります。

相手国政府の調達制度に則り、県議会と協働の上、現地業者を選定し、工事を進める。口にするのは簡単なことですが、実務レベルでは非常に難しいこと



改修工事予定地のひとつ。

です。

道路局と内務地方自治地域開発省との連携は決していいとは言えません。むしろ連携を促進するにあたり困難がつきものになっています。その理由は地方分権化を推進する内務地方自治地域開発省と中央集権的な管理を唱える建設省道路局の見解の相違にあります。道路局の中央と県事務所の調整も大きな壁になります。このような状況下で両者と調整しながら事業を進めることは非常に困難を伴いました。

限られた時間の中での測量、入札図書作成も無事完了し、11月18日、19日にポートルコ県、カンビア県それぞれの道路工事の公告が新聞3社に掲載されました。12月下旬の開札により、業者が選定される運びとなっています。

1.3 反町専門家着任のお知らせ

11月2日に反町キャパシティアセスメント専門家が着任しました。新しい専門家を迎え、プロジェクトチームも士気が益々高まります。反町専門家の今回の赴任期間は12月中旬までとなっています。

シエラレオネの女性の名前には「トユ」で終わるものがよくあります。サキアトユ、マリアトユ、といった感じです。反町さんの名前は早季（さき）さん。すでに「サキアトユ」と呼ばれ、カウンターパートから大歓迎を受けています。



プロジェクト事務所で活動する反町専門家

コラム：「ごつつあんです！ シエラレオネ 第10話」 —我が家—

by ひらしゅらん

どっちかというとなりに女性に人気のあるお店です。その名もCHEZ NOUS(我が家)。店長はちょっといかついレバノン人です。

店の中はバーカウンター越しに大きなテレビが設置されたスポーツバーを思わせる雰囲気。

店の外は目の前にあるビーチからの潮風に吹かれながら食事が楽しめます。



女性に人気のイカチーズ。かにの甲羅に入ってくるのがさらに食欲をそそります。



やっぱり、ここでもロブスターが登場。この店で食べたロブスターは大きかったですよ。

何故このお店は女性に人気があるのでしょうか？きっと、他のお店ではなかなか味わえない、クリーミーでしかもおいしいシーフードがあるからでしょう。イカとチーズをからめたイカチーズ、新鮮な魚介類をふんだんに使ったシーフードグラタン。クリーミーなものが食べたい、と思ったら是非どうぞ。お昼も営業していますが、残念ながら料理の数は少ないです：**お店：CHEZ NOUS**



海老の串焼きもお薦めです。

ひらしゅらんの独断と偏見の評価：★★★★★。このお店のシーフード料理は最高です。

ひらしゅらん 番外編 –ガーナのスペイン料理屋–

今回は番外編もお伝えします。

10月下旬にガーナに出張した際に、連れて行っていた
だいたスペイン料理屋さんのパエリアをご紹介します。

言葉は要りません。このロブスターと海老のコラボ
レーション、というより圧倒的な数に食べる前から感
動です。味もグーです。

お店：感動のあまりにメモするのを忘れてしまいま
した。

ひらしゅらんの独断と偏見の評価：★★★★★。
サッカーだけではないガーナの力を見せつけられまし
た。素晴らしいです。



見てください、このロブスターと海老の数。幸せな瞬間をどうぞ。

(次号へ続く)

発行元：シエラレオネ 地域開発能力向上 (CDCD) プロジェクト 編集長 平林

事務所：フリータウン事務所：内務地方自治地域開発省内、カンビア県事務所：同県議会内、ポートロコ県事務所：同県議会内

プロジェクト協力期間：2009年11月～2014年11月（5年間）

対象地域：カンビア県（25ワード：人口約30万人）、ポートロコ県（7ワード：人口約9万人）

カウンターパート：内務地方自治地域開発省、カンビア県議会、ポートロコ県議会

派遣専門家：平林リーダー、吉野業務調整/研修計画専門家、宿谷調達制度/道路計画専門家、久保嶋コミュニティ開発専門家、反町キャパシ
ティアセサメント専門家（2010年11月実績）